

# ひな人形



1：流し雛をつくる市山区のみなさん（市山公民館）

2：流し雛と流し雛を描いた板祐生の版画（祐生出会いの館）

3：紙雛（祐生出会いの館）



## 雛

祭りは、旧暦の3月3日（現在の4月頃）が桃の花咲く季節だったことから「桃の節句」とも呼ばれ、男の子の「端午の節句（5月5日）」に対する女の子の節句です。

この日に飾られる雛人形は、形や飾り方にそれぞれの時代や地域の特色を見ることができます。

雛祭りの起源は、「上巳」という川に入って身を清め穢れを祓う行事といわれています。

これが平安時代に、紙で作った人形に穢れを移して川に流すようになりまし。この時身代わりとして川に流されていた人形が、技術の発達などによって、次第に座敷に飾って楽しむ人形へと変化していきました。雛人形は平安時代のような格好をしているので、昔から飾られているように思えますが、現在のように形になったのは江戸時代になってからです。

鳥取市用瀬町の流し雛や、祐生出会いの館に展示されている紙雛や流し雛は、雛人形の古い形を残しているものと考えられます。